

科目区分	専門分野	授業科目	看護を展開する技術
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
目的: 科学的根拠に基づいた看護実践における基本技術を習得する。 目標: 1 看護過程の考え方と展開の方法を理解できる。 2 理論に基づく看護過程の展開を習得できる。			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 看護過程の考え方と展開方法	10	1 看護過程とは 1) 看護過程の5つの構成要素 2) 5つの構成要素の関係性 3) 看護過程を用いることの利点 2 看護過程の基盤となる考え方 1) 問題解決過程 2) クリティカルシンキング 3) 倫理的配慮と価値判断 4) リフレクション 3 看護過程の各段階 1) アセスメント(情報の収集と分析) 2) 看護上の問題の明確化 3) 看護計画の立案 4) 実施 5) 評価 4看護記録 1) 看護記録とは 2) 記載・管理における留意点 3) 看護記録の構成	
2 看護過程の考え方と展開方法	20	1 ゴードンの機能的健康パターンとは 2 ゴードンの機能的健康パターンを用いた看護過程 アセスメント 看護上の問題 計画立案 介入 評価	
評価方法	筆記試験、レポート、参加状況・態度等		
テキスト	医学書院 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ メディックメディア 看護がみえるvol.4 看護過程の展開 メディックメディア 看護がみえるvol.5 対象の理解Ⅰ 学研 看護過程に沿った対症看護(病態生理と看護のポイント) 学研 疾患別看護過程の展開 照林社 基準看護計画 臨床で良く出合う看護診断と潜在的合併症		
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。		
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 演習やグループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。		
備考	ゴードンの機能的健康パターンを用いた看護過程では、事例を用いて看護過程を展開する。		